

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 宮城県大崎市立鳴子小学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒989-6823

E-mail osaki\_naruko@educ.osaki.miyagi.jp

Website

幼児児童生徒数 男子35名 女子44名 合計79名

幼児・児童・生徒の年齢6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要

※チェック事項1-1、2-1に対応

### ③防災

地域住民や消防、鳴子地域振興課と共同で避難訓練を行った。

### ⑥国際理解

ALTとの連携で、外国語活動や外国語の指導を行った。

### ⑦伝統文化

5～6年による職場体験や、こけし祭りへの参加などを通して、地域の良さを  
知る学習を行った。

### ⑨健康・福祉

5学年が、福祉施設を訪問し、お年寄りや障害者との交流を図った。

### ⑩食育

地産地消の食材を取り入れた給食を食べ、地域の大切さを知る活動を行った。



③の写真



⑦の写真



⑨の写真



⑩の写真



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし
------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

特別に位置付けることはなかった。
------------------

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

※チェック事項 1-4 に対応

特に体制や環境は整備しなかった。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

※チェック事項 1-5 に対応

今年度は、ユネスコスクールを意識した活動はなかったので、評価も特にしなかった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

※チェック事項 2-2 に対応

特になかった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

※チェック事項 2-3 に対応

特になかった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

※チェック事項 2-4 に対応

特になかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

※チェック事項 2-5 に対応

特になかった。

(3) 平成30年度の活動計画

平成30年度は、ユネスコスクールを意識した教育活動は計画していない。